

さたけ散歩

第9号

◇次号予告◇

次回のテーマは「鬼太郎茶屋と水木しげるの世界 調布」

東京都調布市元町を特集します。



谷崎潤一郎と甘酒横丁 人形町



谷崎潤一郎生誕の地（東京都中央区）



東京メトロ日比谷線人形町駅から徒歩程近い、東京都中央区日本橋人形町一丁目には「谷崎潤一郎(たにさきじゅんいちろう)生誕の地」碑があります(地図①)。明治19年7月24日に誕生した谷崎。初期の作品は耽美(たんび)主義とされ、過剰なほどの女性愛やマゾヒズムなどのスキャンダラスな世界を描きましたが、大正時代後期からは日本的な伝統美に傾倒し、王朝文学を現代に生かした新境地を開拓しました。代表作に「痴人の愛」「蓼喰ふ虫」「春琴抄」「細



人形町駅を出てすぐの甘酒横丁交差点から明治座に至る約400mの小さな通りが「甘酒横丁」と呼ばれる通りです(地図②)。明治時代初期、横丁の入口に甘酒屋があったことから名付けられたと言われています。現在でも酒屋や和菓子屋などの店頭で甘酒が売られており、下町の散歩道として多くの



明治座

日本橋人形町三丁目付近にある「玄治店(げんやだな)」の石碑(写真右)。江戸時代初期の医師・岡本玄治(おかもとげんや)が居住したことに由来しています。歌舞伎「与話情浮名横櫛(よわなさけうきなよこぐし)」の舞台ともなりました。



江戸時代、この地には歌舞伎小屋の中村座や市村座があり、薩摩浄瑠璃(さつまじょうるり)や人形芝居も行われていました。そのため、数多くの人形遣いたちが住んでいたことから「人形町」と呼ばれるようになります。正式に「人形町」という町名に変更されたのは昭和8年になってか



人形町商店街通りから細い路地を入ると、ねぎま鍋で有名な「よし梅」があります(写真上、右)。



■アクセス (谷崎潤一郎生誕の地)
東京メトロ日比谷線人形町駅下車徒歩3分



玄治店の近くにある「寄席末広跡」(写真上: 地図③)。江戸時代末期の慶応3年に創業した末広は昭和45年に103年の幕を下ろしました。客席がすべて畳敷きという落語定席(常設の寄席)は江戸時代からの伝統を受け継ぎ、また反響を良くするために高座の床下に大きな甕を複数埋め込み、寄席の隅々まで声が届く工夫がされていたのです(電気



人形町を歩いて

「谷崎純一郎生誕の地」近くには老舗鶏料理店として有名な「玉ひで」があります。親子丼を考案した「玉ひで」は多くの老舗が軒を並べる人形町界隈でも、昼時の大行列はひと際目を引きまします。特に大安や戌の日は水天宮からの人波でさらに長蛇の列となるのです。